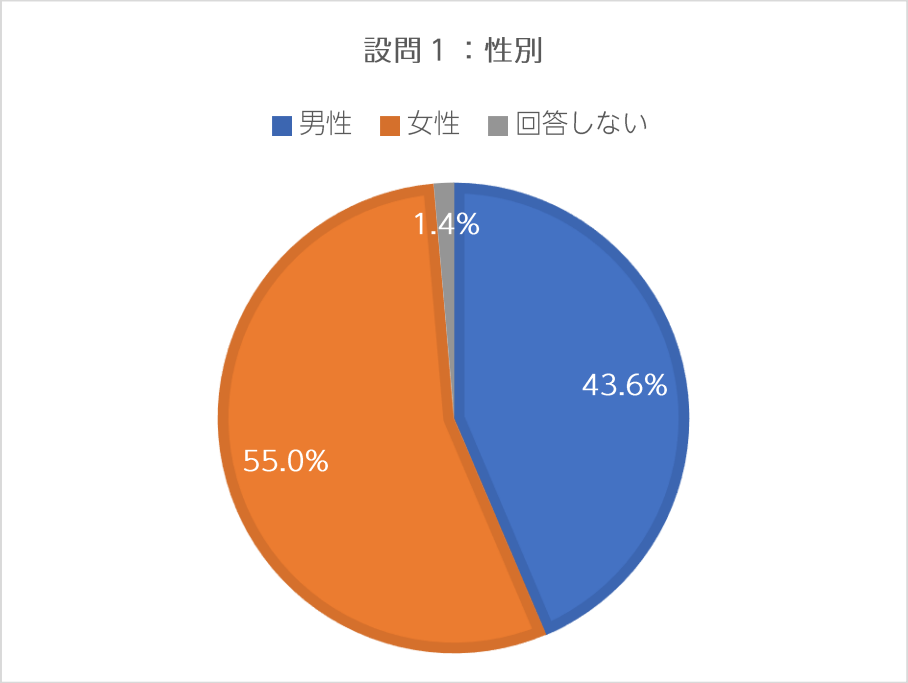
ｅモニターアンケート第2回

ごみ資源循環課「せん定枝リサイクルプラントについて」

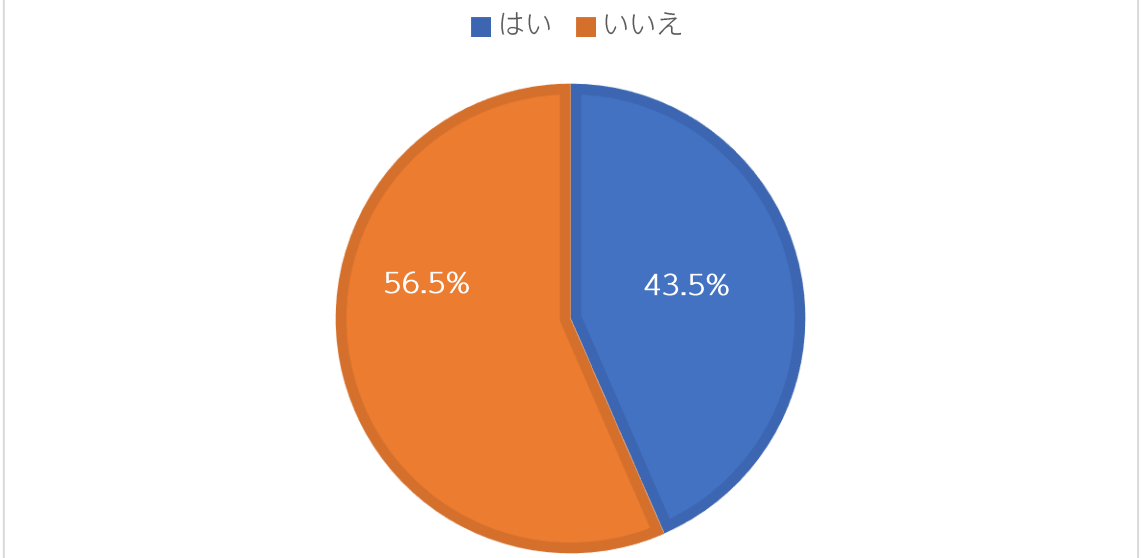
実施期間　令和８年７月１０日（金）～１７日（金）

せん定枝リサイクルプラントは、安城市赤松町にある施設で、市内で発生したせん定枝をたい肥（土壌改良材）化するための施設です。せん定枝リサイクルプラントで作られたたい肥は、市内の農家や市民の皆様へ配布し、資源の有効利用と環境保全型農業の推進を図っています。施設の建設から25年が経過し、設備などの経年劣化が進んでいることから、今後のせん定枝リサイクルプラントのあり方を検討するため、アンケートを実施しました。

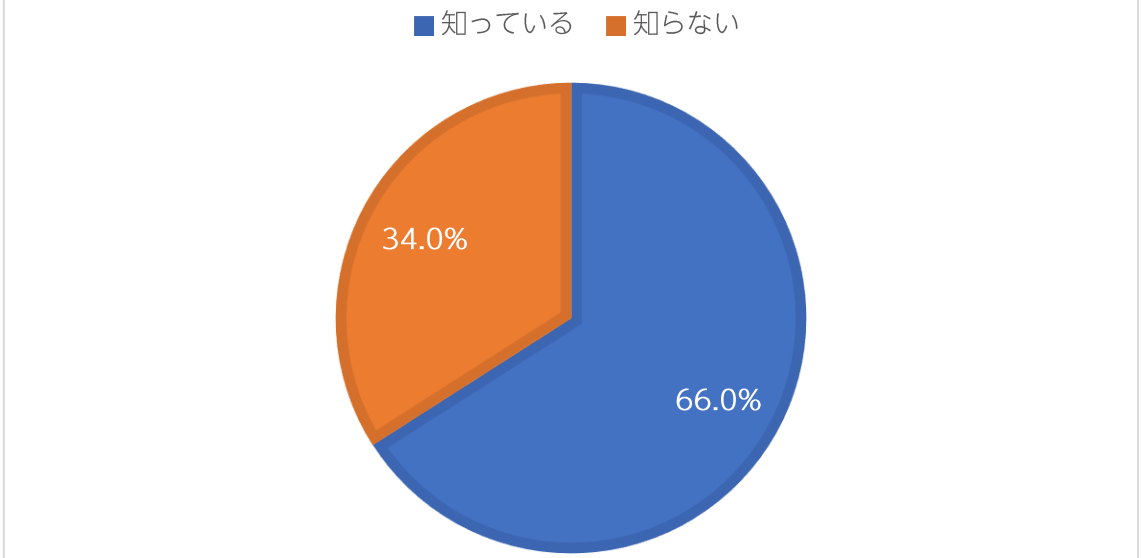
令和８年度アンケート登録者：７４４人
第２回アンケート回答者　　：６５８人（回答率８８．４％）

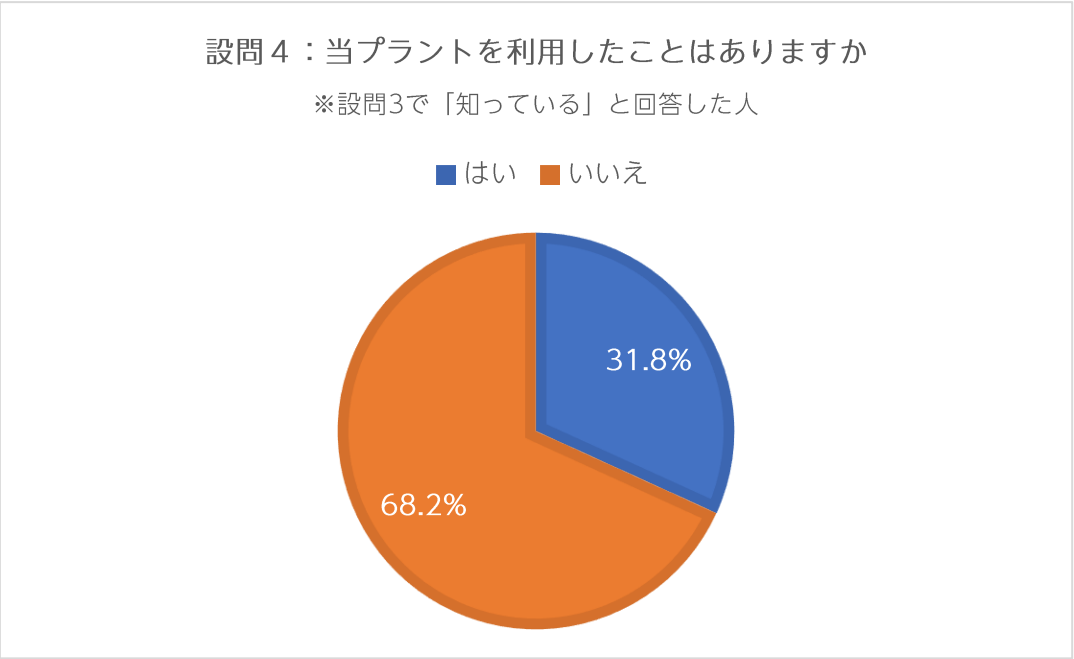


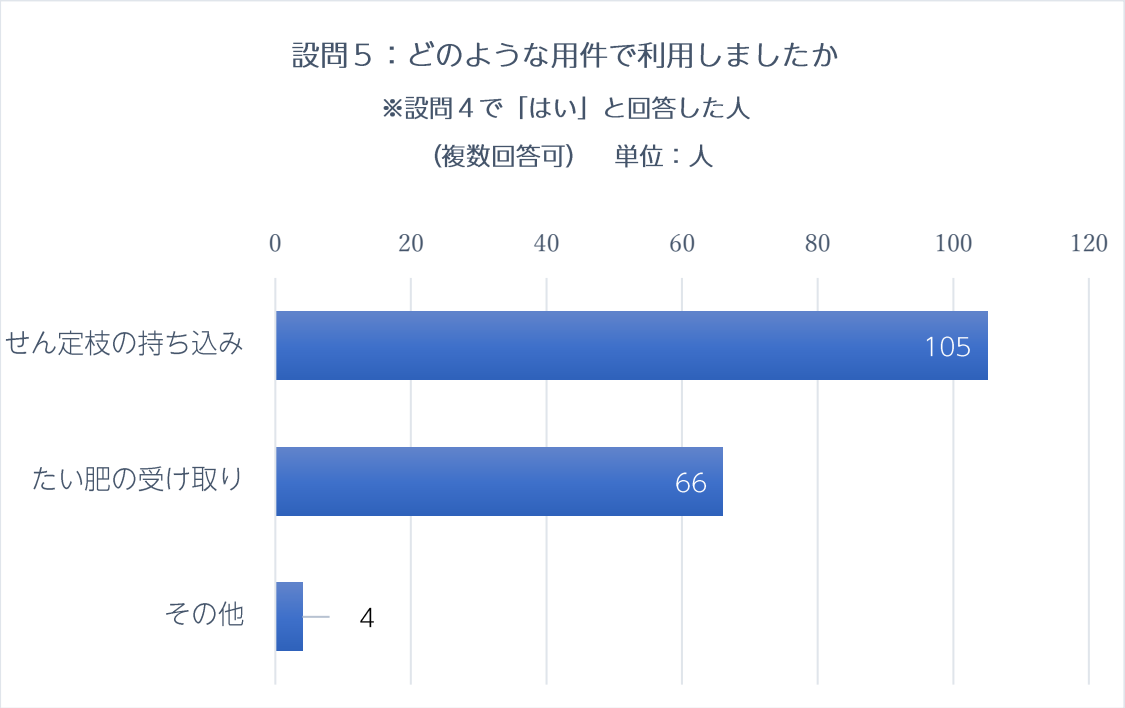
設問２：あなたの生活からせん定枝が発生しますか



設問３：安城市せん定枝リサイクルプラントを知っていますか







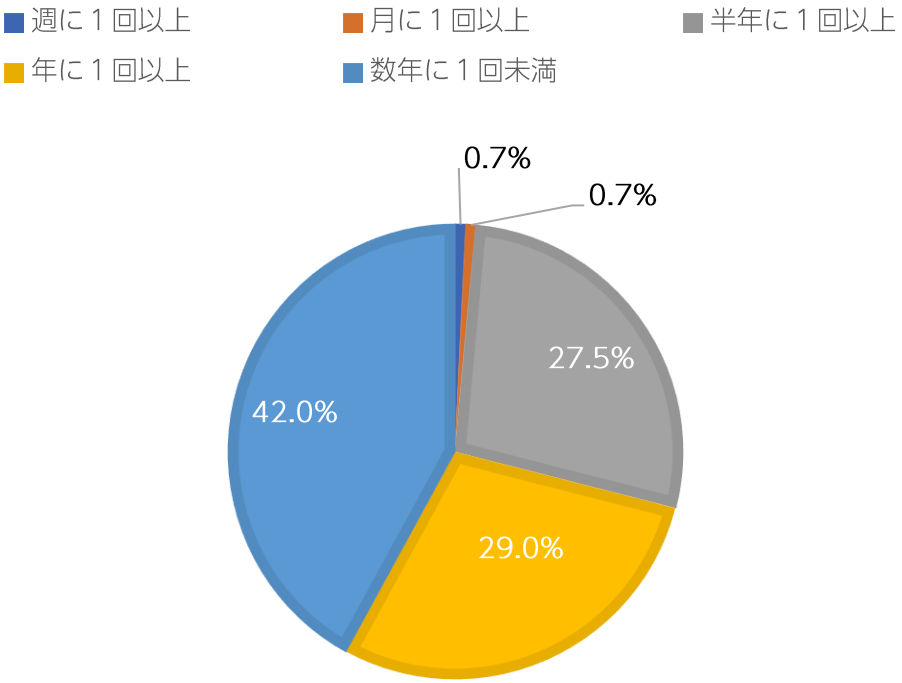
その他の具体的内容

・薪の受け取り

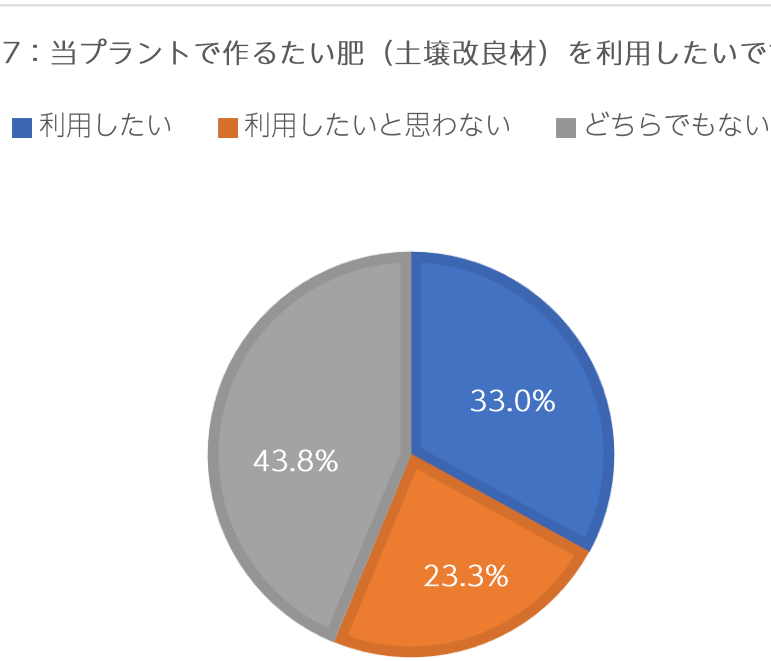
・土作りのために枝をもらってきた

設問６：どれくらいの頻度で利用していますか

※設問４で「はい」と回答した人



設問7：当プラントで作るたい肥（土壌改良材）を利用したいですか



設問8. 設問7の回答の理由（抜粋）

【利用したい】

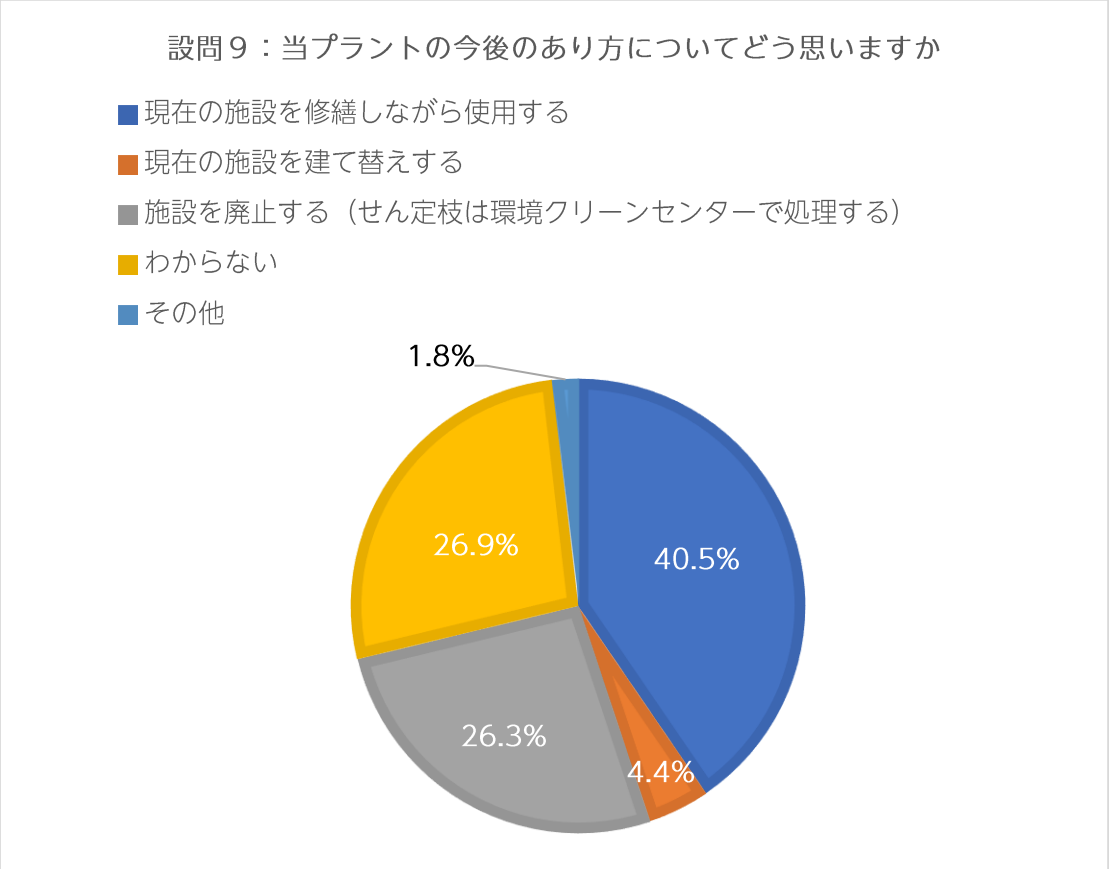
・畑の肥料としたい
・庭の花壇で使用したいので
・ちゃんと包装されていれば車内も汚さずに運べそう
・以前いただいた時、ふわふわで土がとても良くなった
・家庭菜園をするときに役立ちそうなので
・農地に使いたいため
・環境に良さそうなので
・土壌に良さそうなので
・枝が大量に出る訳じゃないが自然環境に良いなら協力したい
・無料でいただけるから
・子供が学校で使用したら、とても立派な野菜ができたので、家でも使いたいと思った
・伐採した木々を再利用しむだを省く
・何か育ててみたい
・肥料も値上がりする可能性が高いのでたい肥を活用したい。
・家庭菜園があるが、粘土質で扱いにくいため堆肥で土を柔らかくできると考えています。

【利用したいと思わない】

・堆肥を必要としていない
・利用に手間がかかりそう
・うちは梨農家で、梨の圃場に入れるたい肥は大量なので買っています。
・たい肥の微量成分を含めた内容を詳しく知らない
・必要性がないため
・ホームセンターで購入できるからです
・家から遠いから
・取りに行くすべがない
・小さな羽虫がでた

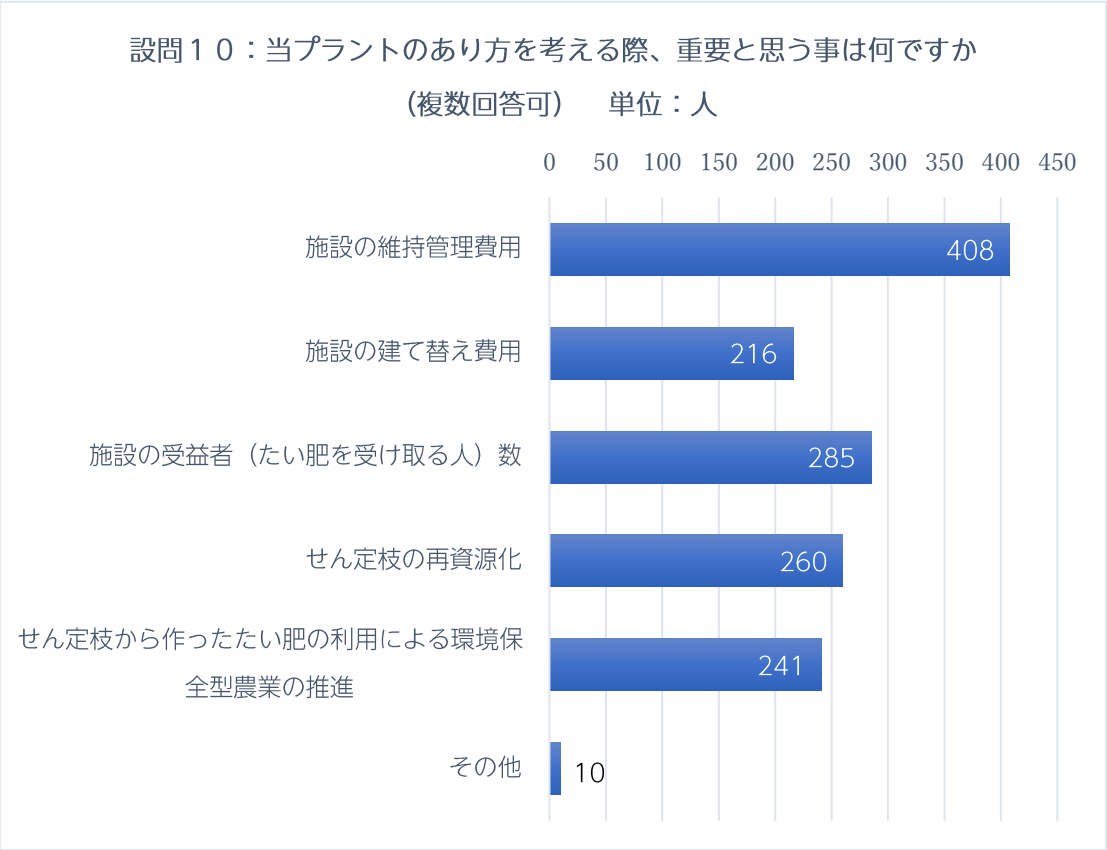
【どちらでもない】

・たい肥が作られていることを知らなかった
・使用機会がない為
・どのような状態の土壌をどう改善するのか、その結果、どんな植物にどう作用するのか分からないから。農場限定？家庭の庭にも使えるのか？など。
・営業時間内に堆肥を取りに行けるかどうかわからない
・コストや持ち帰りの利便性が良ければ利用したい
・たい肥（土壌改良材）をどのように利用出来るのかを詳しく知りたい。



その他抜粋

・有益に感じられない
・市民に配るのはやめて、農業法人に買ってもらう
・需要と供給のバランスが取れているのか、赤字経営になっていないのか、具体的なことが一切わからないから。
・修繕しながら使用するが、施設の傷み次第もあると思います。
・製紙会社やバイオマス発電等へ売却したり、民間企業へ運営委託する
・維持管理費等が財政の何%ぐらいを占めているかによる
・現状は枯れていない、根がついていないなどルールが厳しく使い勝手が悪いので、もっとリサイクルのシステムを改良した形で行ってほしい
・施設は廃止して、せん定枝の処理は民間に委託するのはどうでしょうか？民間への委託ができないならば環境クリーンセンターで処理。
・建て替えをせず、今ある施設を使いながら徐々に維持管理費を減らす（仕事の規模を縮小）方向で考える。
・もっと使用者が増えれば建て替えも有り得るが、それまでは修繕しつつ様子を見る。でも使用者が増えないなら他にいい方法はないか考えた方がよい。



その他抜粋

・内容の周知

・費用対効果につきる。建て替えも含めた維持費を払うだけの価値があるのか。

・循環型都市計画は大切なことですが、それを行うために余計な資金や時間、環境への懸念などがあるのであれば、考え直す必要があると思います。

・現状、制限が多くあり過去断られたケースがあり使いにくい。クリーンセンターのようであれば利用価値はあると思う。担当者の態度が悪い。

・市民への認知度アップ

・私のように普段園芸をしない人から見ると、まずはプラントとは？からなので、周知が必要なのかと思います。

設問11. 当プラントについて意見があればご自由にお書きください。(抜粋)

せん定枝のリサイクルができることをもっと広く宣伝しても良いと思います。たい肥も畑を持っている方にもっと宣伝すると良いと思います。たい肥が貰えるのは知りませんでした、学校の畑や花壇用に配布はしているのでしょうか？場合によっては市外の必要なところへ販売も良いかと思います。
費用対効果を精査して判断していただき、市民が納得する説明の上進めていただきたいです。
民間で採算に合わないようなことはぜひともお金をかけてでも市でしてください。
あまり関心がなかったので、初めて費用対効果が薄いことに気付きました。
安城市は緑化推進、生垣設置補助を実施している。
生垣は必ずせん定しなければならず、その処理が必要。
緑化推進は生垣等設置からせん定処理までがワンセットになるはず。
せん定処理施設単体で考えるのでなく、緑化推進の一環としてのせん定処理施設という位置づけが必要なのでは。
ゴミ削減の良い取り組みだと思うので、続けて欲しい。
私は利用する事はありません。
必要とする市民の皆さんの為にも継続を内容を検討しながら存続方向でご検討いただくことが望ましいのではないでしょうか。”
以前いただいたたい肥は、畑の土をとても良くしてくれてよかったです。
今はちがうかもですが、その時は抽選で当たったので、いただけました。
ありがたかったです。
他の施設もですが、あまり古いと働く人も大変かもなので、立て替えるための積み立てみたいなものを、その施設ができた時、一緒に考えないといけないと思います。”
環境の為にはとてもいい取り組みだと思いますが莫大な維持費や建て替え費用をかけてまで維持する意味があるのか考えなくてはいけないと思います。他にお金をかけるべきところに回すのも一つかと。
循環型社会に貢献する施作は必要だと思います。ただPRが足りていないように感じました。
取り組み自体は良いことだと思うのですが採算性があまりにも悪いので、そこを改善する策を練って欲しいです。
リサイクルのシステムはとても良いと思いますが、利用者の少なさにびっくりしました。
これを施設を維持するのであれば、もっと利用者が利用しやすい場所に設置することや、もっと分かりやすく知らせると良いと思います。私が知らないだけなのかもしれませんが・・・。
費用対効果を鑑みて、施設を廃止することが最善だ。と思います。もっと違う、多くの市民に還元される施設に投資して欲しいです。

資源リサイクル、環境保全において重要な役割を果たしていると思います。
せん定枝をリサイクルするのは環境に優しいので良い事だと思うが、施設の建て替えや維持管理に高額な費用がかかるのに利用者が少ないのでは割に合わない。費用対効果という面では、せん定枝は燃えるごみとして和泉町の環境クリーンセンターで処理するのがベストであると思う。
このような課題があるのを知りませんでした。利用されて頂いてますので、継続希望ですが、採算がというのであれば有料とか考えた方がよいと思いました。私的には、有料化は苦しくなりますが。
何でも焼却という考えではなく、大事な事業だと思います。費用対効果も考慮に入れ、たい肥は多量に作れるならば市外への販売なども視野に入れてもいいのではないかと思います。
とても良い取り組みだと思ったが、維持費がかかることも同時に知った。たい肥が受け取れることも知らなかった。維持費や修繕費も含めた情報の発信を見直してみては、と感じた。
環境保全のためにかける費用の妥当性についてはかなり難しいというのは市民でも理解はできる。予算との相談になるが、そこまで SDGs を含めた環境への配慮をすると決めるのが悩ましい。
せん定枝を無駄にせず堆肥として活用できているのは素晴らしい事業だと思う。
しかし施設の維持管理費用がこれほどかかるとは知らなかった。
それでもせん定枝をお金をかけて燃やしてしまうのもあまりにも残念と考える。
施設があることは知っているが、利用したことがありません。利用価値や利用の仕方をよく知りません。もっと市民に施設の存在をアピールした方がよいと思います。
自分も自宅でガーデニングをしてるので、利用価値が分かれば利用したいと思います。
広大な土地等があり、自然発酵等の方法で人手と施設等の費用をかけず安価にできれば最高だけど、そうでないなら残念だけどせん定枝は焼却ということも致し方ない。
物価高という現状ではこれまでと考え方を変える必要がある。
そのため、限られた予算をどこに使うかが重要。今回の施設建て替えは優先度が低いと思うので、廃止がよいと思います。
せん定枝がリサイクルされるのは環境保全上いいことだと思いますが、維持費、建て替え費が思いのほか高額で驚きました。受け取る人が少ないため、もっと知られる活動を広げて頂きたい。
たい肥を受け取っている人数は少ないかもしれないけれど、SDGS の観点や、子供たちへの教育、安城市で畑をしている人にとってはありがたい施設だと思う。
初めてたい肥を受け取ったのは 1 年前。
たい肥を手で触ってみるととってもあたたかった。発酵したりすると熱を出すことや、環境等について学ぶ良いきっかけになった。

私は、家庭菜園で少しだけたい肥をいただいたことがある。その受け取りの際、周りを見渡せば、すごい量を家族全員で受け取りに来ている人たちもいた。きっと、今は少なくなってきている梨やいちじくなど、安城市の特産品を作っている人たちなのかなと推測した。そのような人たちは、物価の高騰や生産者の高齢化でやめざるを得なくなってきていると感じる。その人たちを応援する意味でも、大規模でなくても良いからたい肥を作ったり受け取れたりすると良いのではないかと感じる。
かかる費用に対し受益者が少なすぎると感じる。費用をかけて修繕するのであれば、費用対効果を示してほしい。
現行の状態の維持が難しくなった時点で廃止した方がいい。
いい施設だとは思いますが、維持費用と利用人数が割り合わないと思います。維持費用も立て替え費用も掛かりすぎだと思います。その予算は別の事業に使うべきです。
資源循環・環境保全型農業の推進に寄与するという考え方については否定するモノではありませんが、施設の維持管理費が年間約7千万円で、建替には10億円以上にもかかわらず、受益者は年間約1300人では費用対効果が全く得られていません。他の効果の出る見込みの有るものやコトに投資を向けるべきと思います。
たい肥を利用している方もいるのは現実にはあるが、全体としてはここまでお金をかける必要がある事業とは思えない。他に使ったほうがよい。
利用者数が 1%未満なのであれば、その予算を別の所に回して欲しい。ごみや環境に関わる分野でもっと活用してほしいです。
家庭から出るせん定枝は少ないかも知れないが、街路樹などのせん定枝などは大量だと思います。これが、全部燃えるごみにするのでしょうか？たい肥にしてもらえるなら、この施設の意味は重要かと思います。時々、使わせてもらっている身としては、大規模でなくてもいいので存続を願います。
循環型社会の実現のために維持してほしい。
資源循環と言う点では非常に良い事だと思うが、維持管理や立替にこれほど費用がかかるとは知りませんでした。
両立させるのは難しい問題だと感じました。
家庭菜園でせん定枝たい肥を毎年利用させていただき大変ありがたいです。
せん定枝の再資源化は大切だが、施設の維持費用を考えると、焼却も已むなしと思います。
行為そのものは理にかなった良い取り組みであることは間違いない。ただ、どうしても赤字に触れがちな施設であることにも間違いはない。その矛盾は、安城市が環境というものに対していかに真剣に取り組みを行っているか、その取り組みが市民に良い意味で理解されているかに係っていると思う。できればこの先も残ってほしい施設には変わりないので、市民の税金を使用しているという気持ちを忘れずに運営してほしい。
維持費がそんなにかかるのですね、たい肥を受けとる人も少ないし建替えにも多額の税金が必要になるのでせん定枝のリサイクルは考え直す必要があるのではないでしょうか。

環境保全のためには、多少の費用負担はやむをえない。
費用がかかって大変だとは思いますが、何とかリサイクルの流れは維持していただきたいと思います。肥料がないと困るのは全員です。今回の石油危機で強く感じています。
多額の費用出費は避けたい。費用対効果等も考えてほしいです。違う部分にも出費拡大のあるため考えてもらいたい。
この仕組みを知らない人がたくさんいるので、もっと周知してほしいです。SDGs を広めたいなら利益はなくても地球のためには続けるべき。維持費は必要経費だと思います。
環境のためでも、費用対効果を考慮した運用が大切だと思います。インフラと維持費が安価な
方法に変更または、施設廃止が妥当だと思います。”
建替えるのならば、違うところにお金を使ったほうがいいと思います。
たい肥を受け取れることをはじめて知りました。やめてもいいのではないでしょうか？
せん定枝リサイクルプラントはとても助かります。堆肥を作り利用してもらうのは重要だと思います。
せん定枝をすべて環境クリーンセンターで処理するとなると、焼却ごみが膨大になる。せん定枝を活用し、環境を維持する本プラントの重要性を周知すべきである。ごみにせずたい肥として市民に還元していることをアピールし、施設の維持管理に努めてほしい。
植物にとってたい肥は大事な栄養源ですから本当は、頑張って維持出来るといいと思います。